

～すべては、讃岐うどんとともに。～
2025年1月より発祥の地・香川県高松市に本社を移転し原点回帰
香川県とともに讃岐うどん文化の伝統を守り革新に挑戦
創業25年目のはなまるが「おいでまい! さぬきプロジェクト」を始動

株式会社はなまる（代表取締役社長：前田良博、以下はなまる）は、2025年1月より、讃岐うどん文化の伝統を守り、革新を起こすことに挑むべく、「おいでまい! さぬきプロジェクト」を始動いたしました。2025年1月1日（水）には、はなまるうどん発祥の地・香川県高松市に本社を移転するとともに、複数店舗の改装や、新メニューの開発など讃岐うどんの魅力を発信していく施策に取り組んでまいります。



● 讃岐うどんの魅力を発信する「おいでまい! さぬきプロジェクト」

プロジェクト始動の背景

2000年に創業したはなまるうどんは、2000年代の成長市場において、気軽に入りやすいセルフ形式の店舗をチェーン展開したことで、1人客や女性客など新しい顧客層を開拓し、全国へ讃岐うどんブームを巻き起こす立役者となりました。

香川県のうどん屋は、どの店もそれぞれ独自の個性があり、異なる讃岐うどんの定義を持ちます。「讃岐うどん」の魅力は、個店の特徴や個性が集まっているという、多様性の塊であることだと考えます。

はなまるは、長年香川県の多様なうどん文化と向き合い、全国にそのイメージを広げてきた中で、多様性をもつ食文化であるという讃岐うどんの魅力が浸透しきっていないという課題を抱えてきました。

25年目を迎えた今、時代が変わり、人々のニーズの変化を捉え直し、地元・香川県に本社を戻すことから原点回帰します。香川県での地産地消の促進をはじめ、各地に店舗があるはなまるうどんだからこそ、県産品を使った商品開発や販売により、香川県の魅力を全国に発信する拠点になれると考えています。

このように、これまでの歩みを地域に還元することで讃岐うどんの多様な食文化自体の保全・継承を目指し、本プロジェクトを始動する運びとなりました。今後は、地元の皆様と考えながら、魅力を発信してまいります。



▲創業当時のはなまるうどん木太店（1号店）

<本件に関するお問い合わせ先>

はなまるうどん PR 事務局 担当：野村・日置・河村・森脇
TEL 03-5572-6071(PR 事務局) 050-5235-3352 (日置) / FAX 03-5572-6075 / Mail : hanamaru2025@vectorinc.co.jp

<プロジェクト名の由来>

「おいでまい」は讃岐弁で「いらっしゃい」という意味を持ちます。今後の活動で「讃岐うどんを食べたい」「讃岐うどんを食べに香川へ行きたい」と全国の皆様に思っていたきたいという気持ちを表しました。

● 「おいでまい！さぬきプロジェクト」活動内容

はなまる本社を香川県に移転し、県内の複数店舗を全面改装

はなまるは、讃岐うどんの“伝統と革新”を次なる戦略として掲げ、発祥の地であり、同じ志をもつことから深い絆をもつ香川県高松市に戻ります。高松の皆様にも長年愛されてきた田町商店街に拠点を構え直す運びとなりました。讃岐うどんの個性ある伝統を守りながら、日本中や世界中へ讃岐うどんの革新をもたらすことを新たな挑戦とし踏み出します。

移転を機に、1号店である木太店をはじめとする香川県内の複数店舗の全面改装や、新メニューの開発なども行ってまいります。

<新本社概要>

- ・会社名 株式会社 はなまる Hanamaru, Inc.
- ・本社住所 〒760-0053 香川県高松市田町14番地5
- ・移転日 2025年1月1日（水）

さらなる、讃岐うどんへのこだわりの追求

セルフ式の讃岐うどん店の先駆けとして生まれたはなまるうどんが提供する麺は、本格的な讃岐うどんをつくるために、製麺工場にて純水と軟水を混ぜてアルカリ度を独自調整し、高松市の水質に近づけた水を使用しています。今後は、さらなる讃岐うどんへのこだわりを追求し、香川県内の店舗では、讃岐うどんのために開発された小麦粉「さぬきの夢」を使用していく予定です。

なお、引き続き讃岐うどんならではの魅力を啓発、継承する「さぬきうどん未来遺産プロジェクト」にも取り組んでまいります。

香川の県産品を使用した新たな商品開発、販売の実施

各地に店舗をもつはなまるうどんだからこそ、県産品を使うことで香川県の魅力を全国に発信する拠点になれると考えています。小麦粉「さぬきの夢」の使用をはじめ、香川県で育った様々な食材を使用したメニュー開発、県内で生まれた商品の店頭販売などを行っていく予定です。まずは香川県内の改装店舗での実施、その後、全国の店舗への拡張を検討中です。はなまるうどんが、全国の皆様に香川県をより深く知っていただけるきっかけとなれればと考えております。

<本件に関するお問い合わせ先>

はなまるうどん PR 事務局 (株式会社プラチナム内) 担当: 野村・日置・河村・森脇
TEL 03-5572-6071 (PR 事務局) 050-5235-3352 (日置) / FAX 03-5572-6075 / Mail: hanamaru2025@vectorinc.co.jp

新聞元旦広告を四国新聞朝刊に掲出

2025年1月1日(水)には、四国新聞朝刊に本社移転のお知らせと決意表明を掲出いたしました。

創業25年目のタイミングで、はなまらが讃岐うどんの伝統を守り、革新を起こすべく、新たな挑戦を開始するという宣言のもと、本社移転へ向けた想いを綴っています。

<新聞広告 掲載概要>

- ・タイトル 「すべては、讃岐うどんとともに。」
- ・掲出日 2025年1月1日(水)
- ・掲出先 四国新聞朝刊(第2特集 最終面)

<移転に関する想い>

すべては、讃岐うどんとともに。

2000年5月、高松市木太町で生まれたはなまらうどん。
はなまらがこだわり続けてきたのは、
香川の誇る讃岐うどんが、誰もがいつでも手軽に、
そして美味しく食べられる“日常食”であり続けること。

「本当」の香川生まれであるはなまらが、
「本物」にこだわった一杯の讃岐うどんを、
「正直」に真心を込めて、お届けしたい。

変わらない想いのもと、25年。
つぎなる一步を、私たちの原点である高松からはじめます。

香川県内の店舗では「さぬきの夢」を使った新しい麺に順次リニューアルを予定。
香川の小麦でさらにおいしくなったうどんを、ぜひお召し上がりください。

はなまらは、香川のみなさまとともに、
讃岐うどんのあたらしい歴史づくりに挑戦をしていきます。

1月1日、株式会社はなまらの本社は、香川県高松市へ。

今後の展望

本プロジェクトでは、香川県高松市に移転した本社ならびに東京オフィスを拠点として、「讃岐うどんを食べたい」「讃岐うどんを食べに香川へ行きたい」と全国の皆様に思っていただくべく、香川県内各地域での独自のメニュー開発や、香川県内の複数店舗の全面改装などを2025年度中に行うことを予定しています。



<本件に関するお問い合わせ先>

はなまらうどん PR 事務局 (株式会社プラチナム内) 担当: 野村・日置・河村・森脇
TEL 03-5572-6071 (PR 事務局) 050-5235-3352 (日置) / FAX 03-5572-6075 / Mail: hanamaru2025@vectorinc.co.jp

●株式会社はなまるについて

はなまるでは「みんなに、おいしい驚きを。」を掲げ、
今後もお客様においしさと驚きを提供する
商品・サービスをお届けしてまいります。



<企業概要>

- ・会社名 株式会社 はなまる Hanamaru, Inc.
- ・本社住所 〒760-0053 香川県高松市田町14番地5
- ・代表者氏名 前田良博
- ・資本金 10,000,000 円
- ・事業内容
 - セルフ式うどん店の直営店の運営
 - セルフ式うどん店のフランチャイズ事業の開発、運営
- ・従業員の数 318名 (2024年11月末)

<本件に関するお問い合わせ先>

はなまるうどん PR 事務局 (株式会社プラチナム内) 担当: 野村・日置・河村・森脇
TEL 03-5572-6071 (PR 事務局) 050-5235-3352 (日置) / FAX 03-5572-6075 / Mail: hanamaru2025@vectorinc.co.jp